



会津農林かわら版

会津農林かわら版 第39号 (令和5年11月)

第64回福島県農業賞を受賞

令和5年9月12日、福島市の杉妻会館において、第64回福島県農業賞表彰式が行われ、農業経営改善部門で、猪苗代町の農事組合法人若宮グリーンファームが受賞したほか、新規就農部門で喜多方市の田中圭氏が受賞しました。受賞した皆様が、今回の受賞を励みに地域農業の担い手として、さらなる経営発展を実現されることをご期待します。

【農業経営改善部門】
農事組合法人若宮グリーンファーム

【新規就農部門】
田中圭氏



▲農事組合法人若宮グリーンファーム



▲左：田中圭氏

平成31年に法人設立され、山間地域における離農者の農地の受け皿となり、遊休農地の未然防止と優良農地の維持に努めながら、山間地域に適した品種や販売先の要望に対応した米の作付けをするなど、模範的な経営が評されました。(農業振興普及部)

平成31年にUターンし、アスパラガス専業農家として新規参入しました。研修先で伝授された栽培技術に自ら創意工夫を加えることで、就農後わずか数年で地元アスパラガス生産部会でもトップクラスの成績を上げるなど、優れた取組が高く評価されました。(喜多方農業普及所)

第39号 目次

第64回福島県農業賞を受賞 / あいづ“まるごと”ネット第1回交流会を開催しました / 「会津身不知(みしらず)柿」が今年も海外へ！ / ため池整備事業 大窪地区の現場見学会を開催しました / 会津6次化商品マーケティング調査を実施しました / 緑の教室(第3回)が開催されました / 農林土木事業担当職員による現地研修を開催しました / 令和5年6月28日発生豪雨災害(農地・農業用施設)の災害査定を実施しました / 県立会津農林高等学校を対象とした「フレッシュ農業講座」を開催しました / 非破壊検査による野生まつたけの出荷販売について / ため池管理者に対する点検および管理保全に関する現地研修会が開催されました / 奥会津物産フェアを開催しました / 一般財団法人西会津町農業公社が設立されました / 令和5年度福島県林業コンクール等表彰式が開催されました / 会津地方鳥獣被害防止対策研修会(二ホンジカ編)を開催しました / 第3回おたねにんじん栽培研修会を開催しました / ふくしま県GAP認証書交付式を行いました / 令和5年度会津・南会津地方特定家畜伝染病防疫演習を開催しました / 第4回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました / 第1回新規就農者等研修会を開催しました / スギの特定母樹採種園を造成しています

会津農林事務所からのお知らせ

6次化商品紹介 / あいづ“まるごと”ネットSNSキャンペーン2023開催中 / 会津の棚田応援キャンペーンを開催します

＼あいつ“まるごと”ネット第1回交流会を開催しました！／



▲グループワークの様子



▲商品づくりのアイデアを
プレゼンする参加者

令和5年7月20日と8月30日、9月6日の3日間に分けて、あいつ“まるごと”ネット第1回交流会を開催しました。

あいつまるごと”ネット（事務局：会津農林事務所、南会津農林事務所）の主催で、「ふくしま6次化創業塾」の卒業生や、会津・南会津地域に移住された方、ふくしま農山漁村発イノベーションサポートセンターのサポートを受けた方で、すでに6次化に取り組んでいる方などを対象に、参加型セミナーを開催したもので、約10名が参加しました。

第1日目（7月20日）の交流セッションでは、自分の強みや取り組みたいことなどを自己紹介していただきました。

第2日目（8月30日）は、株式会社つなぐネットワーク代表取締役の牛島晃氏からの「6次化の成功事例と取組の課題」のご講演の後、地域おこしのイベントを考えるワークに取り組みました。

第3日目（9月6日）は、APJ株式会社代表取締役の松崎健太郎氏から「会津ピーナツを使った幸せ地域作り」、またAIZU-YA-JAPANの池添寛子氏と吉川弘之氏から「県外で会

津のものを売る。ということ」のご講演の後、グループで「連携と地域づくりを踏まえた6次化商品づくり」のアイデア出しを行い、代表者からプレゼンしていただきました。最後に6次化のトレンドワードやChatGPTの参考回答などをお示ししました。

ワークやプレゼンでは、総合アドバイザーの特定非営利活動法人 素材広場 理事長の横田純子氏や講師の方々から、それぞれアドバイスをいただきました。

今回の交流会をきっかけに、参加者間で連携が生まれ、現在も交流が続いています。今後も交流会の開催などを通じて、新たな6次化を創出するような、枠組みを超えた多様な主体の連携・融合に向けた支援を行ってまいります。（企画部）

＼「会津身不知(みしらず)柿」が今年も海外へ！／

令和5年11月15日、JA会津よつば永井野選果場において、会津みしらず柿販路拡大促進協議会主催の、「会津みしらず柿海外輸出発送式」が行われました。

会津身不知柿は、皇室にも献上される本県を代表する秋のくだものの一つであり、本年度も昨年度に引き続きタイとマレーシアへ輸出されます。

発送式では、会津農林事務所の渡辺次長が「春先の霜、夏の酷暑により、生産者にとって苦勞の多い年でしたが、今年の果実は平年よりも大きく、海外の皆さんから好評価が得られるものと期待します。」と祝辞を述べました。

海外輸出を契機とした会津身不知柿産地の更なる産地活性化や、次年度以降の輸出量増加が期待されます。

（農業振興普及部）



▲発送式の様子



▲箱詰めされた「会津身不知柿」

＼ため池整備事業 大窪地区の現場見学会を開催しました／



▲堤体、底樋の施工状況を見学する参加者

令和5年8月24日、ため池改修工事を行っている会津美里町大窪地区において、八木沢地区の受益者を対象とした現場見学会を開催しました。

見学会には地区受益者のほか、会津宮川土地改良区、会津美里町役場から28名が参加し、当所職員が現場を案内しながら、事業や工事内容の説明を行いました。

ため池底樋（取水用の管）の設置状況や、堤体盛土の状況を見た受益者からは「将来、地元で管理するため池の改修過程を間近で見学することが出来て、貴重な機会となった。」といった感想が聞かれました。

今後も事業の早期完了に向け、工事を進めて参ります。

（農村整備部）

＼会津6次化商品マーケティング調査を実施しました／



▲マーケティング調査会場の様子

令和5年8月24日～30日、マルイファミリー溝口（神奈川県川崎市）が主催する販売イベント「会津まるっと！うまいものフェア」に会津地域の6次化商品を出展させていただくのに合わせ、出展された5事業者19商品のマーケティング調査を行いました。

会津地方では、入り口にあたる商品開発やデザイン改良、出口にあたるネット販売やバイヤーとの商談会などには取り組んでいるものの、中間段階の販売のノウハウや戦略的な進め方に苦慮している6次化事業者が多く見られることから、今回、店頭調査や顧客動向調査などの支援を行いました。

来店されたお客様の意見やバイヤーの助言を参考にしながら、首都圏の商業施設での常設販売などを目指して、今後も支援を続けてまいります。

（企画部）

＼緑の教室(第3回)が開催されました／

令和5年9月7日に会津流域林業活性化センター主催による「第3回緑の教室」が開催され、会津美里町蓋沼森林公園を会場に、野生きのこ採取の現地実習と同定作業の研修が行われました。

当日は林業事業者や市町村の担当者など11名が参加し、当所から野生きのこのモニタリング実施状況や出荷制限状況について説明した後、「福島きのこの会」の方を講師に迎え、野生きのこの分類方法について学びました。講師からは、毒きのこの見分け方の迷信は絶対信用せずに、確実に見分けられるきのこ以外は食べないように注意喚起がありました。

きのこ採取の現地実習はあいにくの雨天でしたが、約50種のきのこを採取できました。その後、研修生たちは講師の指導の下、図鑑を用いてきのこの同定に挑戦し、誤って判断されたきのこもありましたが、約30種類のきのこを同定することができました。講師からは複数の図鑑の写真を見比べて判断するようにと助言がありました。

この研修で得た知識や経験が、野生きのこ採取に活用されるとともに、野生きのこの出荷制限の遵守や、毒きのこによる食中毒の注意喚起などにつながることを期待します。（森林林業部）



▲研修風景

＼農林土木事業担当職員による現地研修を開催しました／



▲講師説明



▲パワーブレンダーの見学

令和5年9月13日、農林土木事業を担当する会津農林事務所職員を対象に、地すべり防止工事に関する知識習得、技術力向上を目的とした研修会を開催しました。

当日は、柳津町の地すべり防止事業 高森地区で実施されている、パワーブレンダーを使用した基礎地盤改良を見学しました。

これは、抑さえ盛土の基礎を構築するために行われる工法の一つであり、工事では大型の攪拌機械であるパワーブレンダーを用いて改良材を混ぜ合わせることで軟弱な地盤を安定化しています。

研修には、柳津町職員やインターンシップの大学生を加えた16名が参加し、施工会社現場代理人からの事業説明、事務所担当者による工法説明の後、パワーブレンダーによる土壌の攪拌作業や基礎地盤改良の品質管理を研修しました。

パワーブレンダーは職員でも普段見ることのできない機械であることから、参加者からは様々な質問が出され、活発な意見交換が行われました。

今後も現場研修等、実地での機会をとらえ、職員の技術向上に努めていきます。
(森林林業部)

＼令和5年6月28日発生豪雨災害(農地・農業用施設)の災害査定を実施しました



▲水路閉そく箇所の実地査定状況

会津北部と西部を中心に令和5年6月28日深夜から降り始めた雨は、西部で24時間降雨量が122mmを記録する豪雨となりました。

西会津町、柳津町や会津美里町などにおいて、水田の法面崩落や土砂流入による水路の損壊などの被害が発生し、被害額の合計は約1億5千万円となりました。

国による災害査定は、9月25日～27日の3日間に、計12箇所で行われました。昨年度の8月豪雨災害での経験や災害担当者研修会での情報共有が活かされ、災害復旧事業の実施主体となる各町から、被災原因や復旧方法などについての

確に説明が行われ、査定は円滑に進められました。

各町では来年春の営農に間に合うよう、鋭意、復旧工事を進めていく予定です。
(農村整備部)

＼県立会津農林高等学校を対象とした「フレッシュ農業講座」を開催しました

令和5年9月25日、農業の未来を担う新規就農者の確保推進のため、会津農林高等学校の1年生2学科54名の生徒を対象に、「フレッシュ農業講座」を開催し、農業関連施設やほ場見学による現地学習を行いました。

生産科学科の生徒は、猪苗代町トマト部会長のほ場、会津若松市湊地区集落営農法人の水稻乾燥調製施設、会津若松市河東の先進的果樹園地を視察し、地域創生科の生徒は、会津坂下町のそばほ場、昭和村の新規就農者が取組むかすみ草ほ場、かすみ草の雪室予冷施設を視察しました。

生徒からは栽培方法や農業施設の構造等について質問が出され、授業では知ることの出来ない知識が深まった様子でした。

今後も会津農林高校と連携して、新規就農者確保に向けた取組を実施してまいります。

(農業振興普及部)



▲講座の様子

＼非破壊検査による野生まつたけの出荷販売について／

令和3年9月から、野生きのこの出荷制限が指示されている市町村から採取された野生まつたけについても、所定の検査・出荷管理体制に基づき非破壊検査を受け、基準値以下であることが確認されたものについて出荷販売が可能になりました。

検査受入から販売までを迅速に進めるための体制を整え取り組んだ結果、今年度は喜多方市産のマツタケ3.4kg(46本)が市場に出荷販売されました。採取から出荷まで時間を要するために懸念されていた品質の確保についても、市場関係者からは特に問題なかったとのご意見をいただいているところです。

関係者と連携しながら、来シーズンも品質の良いまつたけが出荷されるよう、引き続き支援してまいります。
(森林林業部)



▲持ち込まれたマツタケ



▲販売単位ごとに袋詰め



▲検査済シールが貼付された合格品

＼ため池管理者に対する点検および管理保全に関する／ 現地研修会が開催されました

令和5年10月3日、福島県ため池サポートセンター主催のため池管理者に対する点検および管理保全に関する現地研修会が会津美里町にある新溜池しんたためいけで、町内のため池管理者や土地改良区、役場職員が参加して行われました。

研修会では水が抜かれた状態のため池において、チェックシートを用いながら堤体ていたいや斜樋しゃび、土砂吐ゲートどしゃばけなど点検時のポイントについて説明がありました。

ため池の管理や、劣化状況評価の判断についての質問が出されるなど、参加者にとって安全にため池を使用していくための知見を深めるよい機会となったようでした。
(農村整備部)



▲土砂吐ゲート点検方法を学ぶ参加者



▲堤体の点検方法について説明を受ける様子

＼奥会津物産フェアを開催しました／



▲一定額以上購入された方へ昭和かすみ草をプレゼントしました

令和5年10月14日～15日にイオンいわき店において、10月20日～22日にはイオン福島店において、奥会津地域の農林水産物や6次化商品を販売する「奥会津物産フェア」を開催しました。

イオンいわき店及びイオン福島店にそれぞれ7事業者が出展し、催事コーナーには様々な農林水産物や6次化商品などが並びました。会場には多くのお客様が来場され、次々と奥会津地域の商品を買って求めていました。

また、会場では一定額以上購入された方へ、令和5年7月に地理的表示(GI)保護制度に登録された昭和かすみ草を配布するキャンペーンを行ったほか、会津・南会津地域の農林水産物や6次化商品を紹介するチラシを配布するなど、広く奥会津地域の魅力を発信しました。
(企画部)

＼令和5年度福島県林業コンクール等表彰式が開催されました／

令和5年10月21日、郡山市安積町のホテルバーデンにおいて、令和5年度福島県林業コンクール等表彰式が開催されました。福島県では毎年、福島県林業祭の開催に合わせ、5つの表彰式を合同で実施しており、今年度も会津農林事務所管内から多くの方が表彰されました。

森林林業部では、今後も林業関係者や先進的な技術・知識を有する技術者と連携し、一体的な普及指導により技術の発展に努めて参ります。

令和5年度福島県林業コンクール

福島県林業コンクールでは、山林苗畑部門において、長年の経験を活かした苗木の生産管理や栽培技術の確立について、森林育成（間伐）部門では、適正な間伐率や施業経費の軽減等の施業技術について評価され、受賞となりました。

山林苗畑部門

福島県知事賞 会津美里町 佐藤孫一

森林育成（間伐）部門

農林中央金庫福島支店長賞 猪苗代町 長坂区 代表 黒澤孝



第74回福島県学校関係緑化コンクール

学校関係緑化コンクールでは、多種多様な環境教育や学校林活動が高く評価されました。特に川南小学校は、両部門で知事賞の受賞となりました。

学校林等活動の部（小学校）

福島県知事賞、福島民報社社長賞 会津若松市立 川南小学校
教育長賞 会津若松市立 湊小学校

学校環境緑化の部（小学校）

福島県知事賞、福島民友新聞社社長賞 会津若松市立 川南小学校
教育長賞 会津若松市立 大戸小学校
関東森林管理局長賞 会津若松市立 湊小学校

（公社）福島県・森林・林業・緑化協会会長賞 喜多方市立 第一小学校

福島県きのご品評会

福島県きのご品評会では、3部門で5名の生産者が入賞し、管内生産者の適正な栽培管理や品質向上による、高い生産技術が証明されました。

生しいたけの部（菌床栽培部門）

福島県きのご振興協議会会長賞 西会津町 富士ソフト企画（株）中村寛基

乾しいたけの部

福島県知事賞 磐梯町 鈴木吉一

（公社）福島県・森林・林業・緑化協会会長賞 西会津しいたけファーム 土田杏子

なめこ・ひらたけの部

日本特用林産振興会会長賞 三島町 桐の里産業（株）代表取締役 小堀庄太郎
福島県森林組合連合会代表理事会長賞 西会津町 田崎眞平



＼一般財団法人西会津町農業公社が設立されました／

令和5年10月21日、一般財団法人西会津町農業公社の設立記念式典が西会津町野沢体育館において開催されました。

西会津町農業公社は、西会津町における農業従事者の減少や耕作放棄地の増加、鳥獣被害の拡大などの農業を取巻く課題に対し、集落と連携した農地保全や高収益営農モデルの構築及び担い手農家の確保・育成等により地域農林業の発展に寄与することを目的に令和5年9月15日に設立、10月から業務を開始しています。

町民からは、農地の保全と土地の有効活用に対して大きな期待が寄せられています。今後、農作業受託や担い手の確保などの様々な事業を展開し、住民や消費者との交流・連携を通して地域農業の活性化が図られることが期待されます。

(喜多方農業普及所)



▲設立記念式典での星所長祝辞



▲記念式典の全景

＼会津地方鳥獣被害防止対策研修会(ニホンジカ編)を開催しました／

令和5年10月23日、道の駅あいづにおいて会津地方鳥獣被害防止対策研修会を開催しました。

本研修会は、近年、会津地方で農作物被害が徐々に顕在化しているニホンジカの生態や被害防止の手法などを学び、効果的な被害防止対策を図ることを目的に、南会津地方を中心に専門家として活動している株式会社BOULDER(ボルダー)の千本木洋介氏を講師にお迎えして実施したもので、会津地方13市町村、JA、県関係機関の担当者34名が出席しました。

ニホンジカは、ほとんどすべての植物を食べる特性があり、里山の植物が食べ尽くされてしまうことが危惧されることから、侵入防止柵の整備だけではなく、捕獲による個体数調整なども組み合わせた総合的な対策が必要となります。

今回の研修会で“鹿(しっかり)”学んだことをきっかけに、ニホンジカの被害軽減や未然防止に向け、関係機関が連携してスタートを切ることができました。

(農業振興普及部)



▲研修会の様子

＼第3回おたねにんじん栽培研修会を開催しました／

令和5年10月24日に会津若松市門田町において、第3回おたねにんじん栽培研修会を開催しました。

会津地方の特用作物であるおたねにんじん(会津人参)の栽培技術向上を目的に開催したもので、生産者や市町村関係者など18名が参加しました。

研修会では、熟練農家である菊地要一氏から、畝立した場所をスコップで掘って2年生移植する方法や、スチール棒で植え穴を空けて補植する方法について、実演を交えながら説明していただきました。参加者は、植え穴を空ける向きや根が肥大しやすい角度など、資料だけではわからなかった移植作業のコツを学んでいました。



▲研修会の様子

また、農業総合センター会津地域研究所の芳賀主任研究員からは、近年取組が増えているコンテナ栽培の播種方法について説明がありました。

本研修会で学んだ栽培技術の活用により、生産量の増大や品質向上が期待されます。

(農業振興普及部)

＼ふくしま県GAP認証書交付式を行いました！



▲左から星所長、佐原裕司氏(佐原ファーム)、鈴木淳司氏、小檜山農業振興普及部長、新田喜多方農業普及所長

令和5年10月25日に会津若松合同庁舎でふくしま県GAP(FGAP)の令和5年度第2回認証書交付式を行い、新たに2経営体が認証を受けました。

喜多方市の佐原裕司氏(佐原ファーム)は、水稻の県オリジナル品種「福、笑い」の生産を集落に広め、良食味米の生産を拡大するために、GLOBAL G.A.PからFGAPに切替えて取得されました。

また、磐梯町の鈴木淳司氏は、令和3年に就農し、アスパラガスの生産を始めたばかりですが、「磐梯さとやまの慧み」への取組に向け、認証を取得されました。

星所長からは、「これからも地域におけるGAP認証取組へのけん引役をお願いします！」との激励の声がありました。

(農業振興普及部)

＼令和5年度会津・南会津地方特定家畜伝染病防疫演習を／開催しました



▲防疫演習の様子

令和5年10月26日、会津坂下町農村環境改善センターにおいて、会津・南会津地方特定家畜伝染病防疫演習を開催しました。

この演習は、会津・南会津地方において鳥インフルエンザ等の特定家畜伝染病が発生した際の初動対応や防疫措置等を体験・確認することを目的に、市町村、警察署、建設業協会、県等の関係する機関が一堂に会し開催したものです。

演習では、「集合センター班」、「現場作業班」、「消毒ポイント班」の3班に分かれ、管内養鶏場で鳥インフルエンザが発生したとの想定のもと、役割分担や作業内容を確認したほか、作業上の問題点や課題について意見交換を行いました。

最後に、会津・南会津地方特定家畜伝染病会津地方本部副本部長である、会津家畜保健衛生所 佐藤亮一所長から「不慣れな作業ばかりで大変でしたが、本日の演習内容を振り返っていただき、有事に備えていただきたい。」との講評があり、演習を終了しました。

(農業振興普及部)

＼第4回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを／開催しました

令和5年11月4日、道の駅ばんだいにおいて、第4回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました。

キャンペーンでは、県産農林水産物に関するアンケートに回答いただいた先着100名様へ特別栽培米「里山のつぶ」をプレゼントしました。また、「里山のつぶ」についてのパネル展示や、特別栽培についてのチラシを配布し、会津産農林水産物の魅力や安全性をPRしました。

県外からの来場者も多く、プレゼントの「里山のつぶ」は大変好評でした。来場者からは「県外に対してもっと県産農林水産物をPRしてほしい」「このようなイベントを継続して行ってほしい」などの声が寄せられました。

今後も会津産農林水産物の消費拡大や魅力向上に努めてまいります。

(企画部)



▲キャンペーンの様子

＼第1回新規就農者等研修会を開催しました／

会津農林事務所では、新規就農者や新規就農希望者、研修機関の研修生を対象に、経営管理や共通技術の習得を目的として、毎年この時期に研修会を開催しています。

令和5年11月9日に開催した第1回研修会では、島尾雅行税理士事務所（会津若松市）の島尾雅行税理士を講師に迎え、経営管理についての研修を実施しました。当日は新規就農者や研修生など24名が参加し、「おさえておきたい経理のポイント」をテーマに、農業簿記、青色申告、減価償却などの基本について説明いただきました。受講者からは、税務申告に関する質問が多数出されるなど、知識を深めようとする姿勢がうかがえました。



▲研修会の様子

第2回以降の新規就農者等研修会では、「労務管理」「農業機械の点検・整備」「土づくり」「農薬の適正使用」「マーケティング」をテーマに開催する予定ですので、興味のある方は、ぜひ会津農林事務所農業振興普及部までお問い合わせ願います。
(農業振興普及部)

＼スギの特定母樹採種園を造成しています／



▲特定母樹採種園の様子

スギの花粉症は多くの人を悩ませる社会問題となっていますが、花粉量が一般的なものの半分以下で、成長量や剛性、通直性が従来のスギより優れている樹木を選抜して「特定母樹」とし、母樹から生産される種子等を活用したスギの生産拡大が進められています。

会津管内では福島県農林種苗農業協同組合が令和4年度より補助制度を活用して、会津美里町にスギの特定母樹採種園の造成を進めています。この採種園では全体で594本（99本×6ブロック）が植栽される見込みで、今年度までに植栽の約8割が完了し、令和7年度にはこの苗木から種子採取が可能となる予定です。

現在、国内で生産されるスギ苗木の約半分は花粉の少ない苗木となっていますが、その割合をさらに高められるよう採種園の造成や適切な維持管理の支援を行うなど、今後もスギ花粉の発生源対策を進めてまいります。
(森林林業部)

会津農林事務所からのお知らせ

＼6次化商品紹介／

チャルジョウ農場山都農場では冬の間、ドライトマト、ドライ「柿っぶす」、雑穀もちを農場内の工房で製造しています。

ドライトマトは無灌水栽培で育てた甘くて濃厚なミニトマトをそのまま低温乾燥させており、そのままおやつにも、水でもどしてお料理に使うのもおすすめです。

「柿っぶす」は、会津みしらず柿を使用しています。渋を抜いて甘く熟した柿を丁寧にスライスし乾燥させてあり、ソフトな食感と優しい甘さが特長です。

雑穀もちには会津で有機で栽培された黒米、山都町のもち米を使用しています。焼くことで香ばしさが一層増しますので、トースターや焼き網を使うのがおすすめです。

ドライトマトと柿っぶすはどちらも400円、雑穀もち480円、いずれも税抜価格です。道の駅あいづや会津若松市内のリオンドール、一部中通りのリオンドールでもお買い求めいただけます。ぜひご賞味ください。



お問い合わせ
チャルジョウ農場山都農場／そる工房
電話0241-38-2463

＼あいづ“まるごと”ネットSNSキャンペーン2023開催中／

あいづ“まるごと”ネットX (旧Twitter) では、令和5年11月20日よりあいづ“まるごと”ネット SNSキャンペーン2023を開催中です。

下記応募方法に従い、あいづ“まるごと”ネットXをフォロー&対象動画をリポストした方の中から抽選で合計30名様に2,500円相当の6次化商品をプレゼントします！ぜひご応募ください！

- 期間 第1弾：令和5年11月20日 (月)～12月15日 (金)
- 第2弾：令和6年1月9日 (火)～2月2日 (金)
- 第3弾：令和6年2月5日 (月)～3月1日 (金)

○主催 あいづ“まるごと”ネット

○応募方法

- ①あいづ“まるごと”ネットX (旧Twitter) アカウント (@aizumarugotonet) をフォローしてください。
 - ②あいづ“まるごと”ネットX (旧Twitter) に、それぞれのキャンペーン期間内で2回、6次化事業者等を紹介する動画を投稿します。
 - ③2回の投稿に対し、2回ともリポストすれば応募完了です。
- ※「#あいづまるごとキャンペーン2023」が付いている投稿が対象です。



あいづ“まるごと”
ネットX

あいづ“まるごと”ネット SNSキャンペーン2023

会津・南会津地域の6次化商品の魅力を発信するため、あいづ“まるごと”ネット SNS キャンペーンを開催します。あいづ“まるごと”ネットX (旧Twitter) をフォロー&対象動画をリポストした人の中から抽選で合計30名様に2,500円相当の6次化商品をプレゼントします！

| 第1弾 | 第2弾 | 第3弾 |
|-------------------------|---------------------|---------------------|
| 令和5年11月20日(月)～12月15日(金) | 令和6年1月9日(火)～2月2日(金) | 令和6年2月5日(月)～3月1日(金) |

応募方法
あいづ“まるごと”ネットX (旧Twitter) アカウント (@aizumarugotonet) をフォローしてください。
あいづ“まるごと”ネットX (旧Twitter) に、それぞれのキャンペーン期間内で2回、6次化事業者等を紹介する動画を投稿します。
2回の投稿に対し、2回ともリポストすれば応募完了です。
※「#あいづまるごとキャンペーン2023」が付いている投稿が対象です。

抽選発表
当選者は各回の抽選結果を公開し、ダイレクトメッセージにて抽選結果を通知いたします。
抽選結果が発表された後、抽選結果を比較させていただきます。
抽選結果が発表された後、抽選結果を比較させていただきます。

注意事項
本キャンペーンは、会津・南会津地域の6次化商品の魅力を発信するため、あいづ“まるごと”ネットX (旧Twitter) をフォロー&対象動画をリポストした人の中から抽選で合計30名様に2,500円相当の6次化商品をプレゼントします。
抽選結果が発表された後、抽選結果を比較させていただきます。
抽選結果が発表された後、抽選結果を比較させていただきます。

〒965-8501 福島県会津若松市追手町7番5号 (会津若松合同庁舎2階)
TEL: 0242-29-5369
Mail: aizumarugotonet@pref.fukushima.lg.jp

＼会津の棚田応援キャンペーンを開催します／

会津農林事務所公式Xでは、令和5年12月4日より会津の棚田応援キャンペーンを開催します。

下記応募方法に従い、会津農林事務所公式Xをフォロー&対象ポストをリポストした方の中から抽選で10名様に棚田で栽培した棚田米食べ比べセット (合計6kg) をプレゼントします！ぜひご応募ください！

- 期間 令和5年12月4日 (月)～令和6年1月5日 (金)

○主催 福島県会津農林事務所 企画部地域農林企画課

○応募方法

- ①福島県会津農林事務所公式X (旧Twitter) アカウント (@aizu_nourin) をフォローしてください。
 - ②福島県会津農林事務所公式X (旧Twitter) に、会津の棚田に関する記事4回を投稿します。
 - ③4回の投稿した記事に対し、1回以上リポストすれば応募完了です。
- ※「#会津の棚田応援キャンペーン」が付いている投稿が対象です。



会津の棚田 応援キャンペーン

開催期間
令和5年 12月4日(月)～1月5日(金)

会津にある棚田の最新情報を会津農林事務所公式Xで発信します。
また、Xをフォロー&対象記事をリポストした方の中から抽選で10名様に棚田で栽培した棚田米食べ比べセット(合計6kg)をプレゼントします！

応募方法
①福島県会津農林事務所公式X (@aizu_nourin) をフォロー
②会津の棚田に関する記事を4回投稿します。
投稿した記事に1回以上リポストすれば応募完了です。
※「#会津の棚田応援キャンペーン」が付いている投稿が対象です。

棚田情報発信中
福島県会津農林事務所公式X (@aizu_nourin) をフォロー
福島県会津農林事務所公式X (@aizu_nourin) のYouTubeチャンネル「会津の棚田」で発信しています。

当選者発表
当選者は、令和6年1月16日(火)までにダイレクトメッセージでご連絡させていただきます。
ダイレクトメッセージに返信の期限にご返信いただけない場合、抽選を無効とさせていただきます。
抽選結果が発表された後、抽選結果を比較させていただきます。

注意事項
本キャンペーンは、会津の棚田の魅力を発信するため、会津の棚田に関する情報を発信しています。
抽選結果が発表された後、抽選結果を比較させていただきます。
抽選結果が発表された後、抽選結果を比較させていただきます。

【事務局】 福島県会津農林事務所 企画部 地域農林企画課 ☎0242-29-5369

【ご意見・お問合せ】 福島県会津農林事務所 企画部地域農林企画課

〒965-8501

福島県会津若松市追手町7番5号 (会津若松合同庁舎2階)

☎ (0242) 29-5369 FAX (0242) 29-5389

E-mail : kikaku.af04@pref.fukushima.lg.jp

